

# FFGの実施結果と今後の推進に向けて

秋田森林管理署岱森林官

○ 細谷 金昭

## 1. はじめに

「森林ふれあい基地づくり整備モデル事業」のことをファミリー・フォレスト・ガーデン略して「FFG」といっています。FFGの趣旨は、最近、森林に対する国民の要請が多様化している中で、都市住民に対し、それぞれのライフスタイルに応じて、森林と共生しながら自由に遊び安らぐ場を提供しようというものです。

当署では、平成10年度に「仁別国民の森」として親しまれている仁別自然休養林において19区画を公募したところ18区画に応募があり、秋田市という地方都市においても、交通の便、景観等ある程度の条件があれば一定の需要があることが確かめられました。

このことを踏まえて、今年度は、河辺町の溪流がきれいなことや山菜の宝庫として有名な三内川流域で8月に13区画を公募したところ、全区画に応募があり、平成11年9月7日付けで契約となりました。自然志向等により改めて森林が注目されていることが立証されました。

私は、去年まで仁別の森林官、今年から岱の森林官と仁別・三内川双方のFFGに関わったことから、FFGを2箇所実施してみてそれを振り返るとともに、契約者が今年度どのように利用したのか、又、今後どのように利用したいと考えているか、などについてアンケート調査を実施しましたので、その結果を主体に述べてみたいと思います。

## 2. 仁別FFGの概要

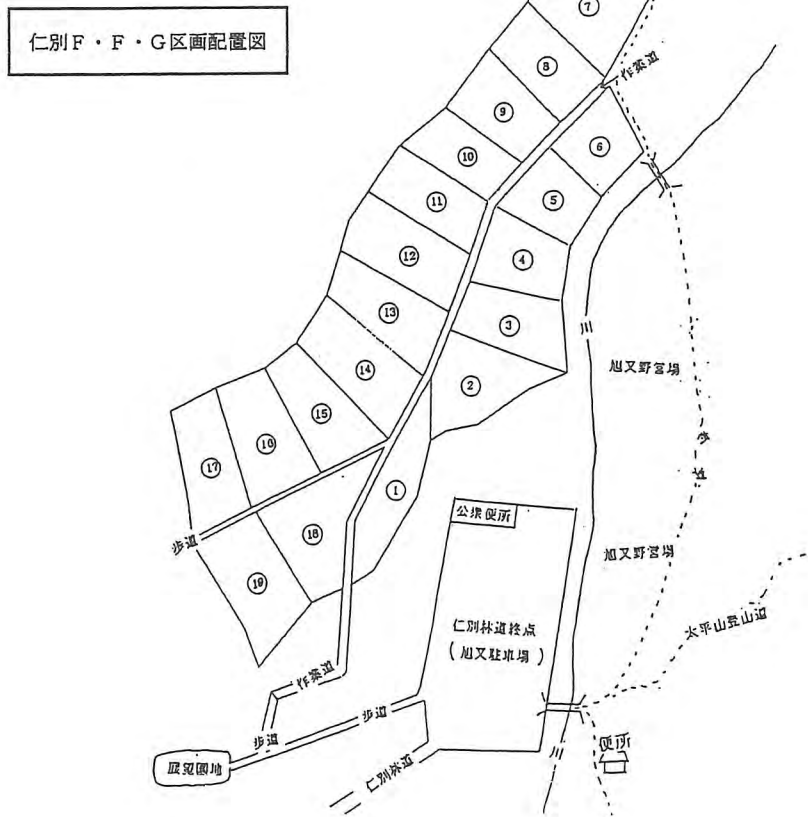
### (1) 現地の状況

本地区は秋田県のほぼ中央部に位置し、通称「仁別国民の森」として県民のなじみが深く、天然秋田スギやブナ等を主体とした天然林とスギ人工林が広く分布しており、太平山の登山口、森林浴、自然探勝などの野外レクリエーションの場として親しまれている所です。

### (2) 設定箇所及び区画配置

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| ① 設定箇所  | 秋田市仁別字務沢国有林16林班た小班           |
| ② 面積    | 1.815ha                      |
| ③機能類型区分 | 森林と人との共生林（森林空間利用タイプ）         |
| ④樹種及び林齢 | スギ人工林で45年生                   |
| ⑤各種法令制限 | 水源涵養保安林、県立自然公園第2種特別地域、鳥獣保護区  |
| ⑥交通の便   | JR秋田駅から約2.6km、車で約50分         |
| ⑦区画数    | 19区画（1区画の面積 727㎡～1,179㎡）     |
| ⑧利用料金   | 1区画の大きさにより 年間 9,700円～15,800円 |
| ⑨区画配置   | 図1のとおり（契約者18名全員が秋田市在住者）      |

図 1



### 3. 三内川F F Gの概要

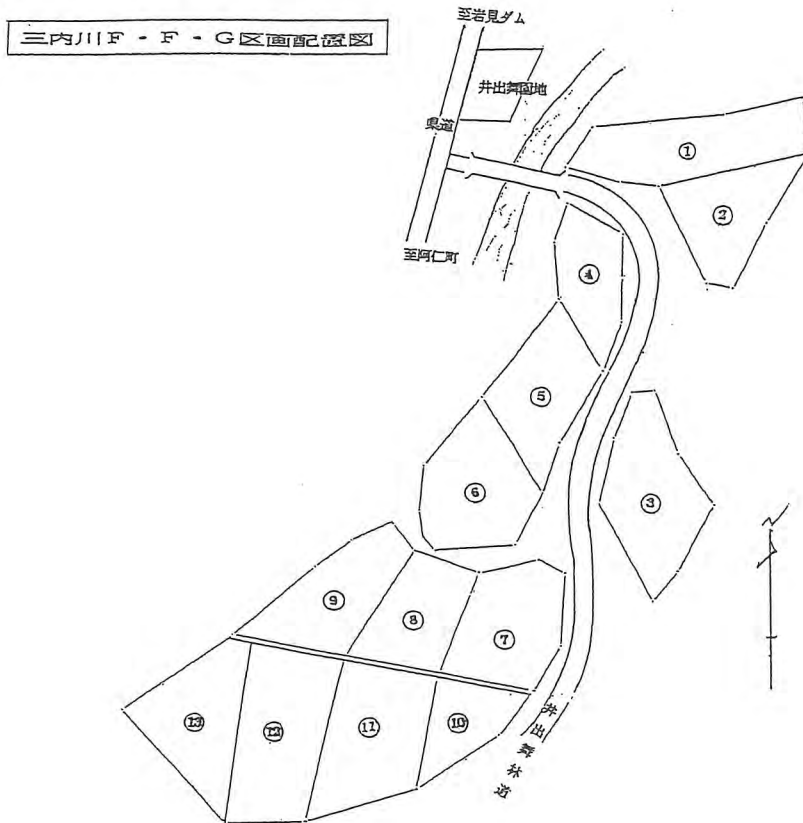
#### (1) 現地の状況

本地区は秋田県の隣に当たる県道河辺・阿仁線の沿線にあつて、三内川の清流・渓谷は新緑と紅葉の時期には優れた景観となつており、レクリエーションの森の風景林及び井出舞園地として指定されております。溪流釣り、ナベッコ遠足など身近なレクリエーションの場となっております。

#### (2) 設定箇所及び区画配置

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| ① 設定箇所   | 河辺町三内字財の神国有林224林班い小班              |
| ② 面積     | 1.508ha                           |
| ③ 機能類型区分 | 森林と人との共生林(森林空間利用タイプ)              |
| ④ 樹種及び林齢 | スギ(6割)、カラマツ(3割)、アカマツ(1割)の混交林で48年生 |
| ⑤ 各種法令制限 | 県立自然公園第2種特別地域                     |
| ⑥ 交通の便   | JR秋田駅より約40km、車で約1時間余り             |
| ⑦ 区画数    | 13区画(1区画の面積 636㎡~1,566㎡)          |
| ⑧ 利用料金   | 1区画の大きさにより 年間8,300円~15,600円       |
| ⑨ 区画配置   | 図2のとおり                            |

図 2



4. 三内川 F F G の公募時における P R 手段と応募者の情報源、等

(1) 公募時の P R 手段

- ①新聞折込 (チラシ)
- ②ラジオ (秋田放送 (A B S))
- ③新聞 (秋田魁新報, 東奥日報, 秋田木材通信社)

(2) 公募についての問合せ者の情報源 (情報を何で知ったか) (問い合わせ者 40 名からの聞き取りによる)

- ①新聞折込 (チラシ) 23 名
- ②新聞 (秋田魁新報, 東奥日報) 13 名
- ③ラジオ 4 名

(3) 応募者 13 名の所在地

- ①秋田市 9 名 ②本荘市 1 名 ③湯沢市 1 名 ④河辺町 1 名 ⑤雄和町 1 名

5. 10 年度実施の仁別の F F G の公募時における利用予定などについてのアンケート調査結果について (アンケートは平成 10 年 10 月に実施しました。18 名の内定者のうち 16 名からの回答で回収率は 89% となっています。)

(1) 利用について、どのような利用をお考えですか？

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①キャンプ・森林浴・自然観察等 | 7人 |
| ②登山・ハイキングでの泊まり  | 4人 |
| ③山菜の栽培実験        | 2人 |
| ④家族でくつろぐ        | 2人 |
| ⑤林業体験           | 1人 |

→①、②を併せて68%を占めていました。

(2) どの程度の利用をお考えですか？

|                  |    |
|------------------|----|
| ①日帰りです月に1回～3回    | 7人 |
| ②月1回程度の泊まり       | 5人 |
| ③夏期は毎週、日帰りとは泊まりで | 2人 |
| ④仮設小屋で長期に泊まり     | 1人 |
| ⑤週1回泊まり          | 1人 |

→①、②で75%を占めていました。

(3) 泊まりで利用される場合、どのようになさいますか？

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ①区域内にテントを設営し泊まり | 11人 |
| ②日帰りですしか利用しない   | 3人  |
| ③隣のキャンプ場を使用し泊まり | 2人  |

→泊まりでの利用が約8割ですが、その中でも自分の区画内に泊まろうと思っている人が約7割を占めていました。

(4) 植樹・下刈・枝打ちなど体験林業は経験したことがありますか？又やってみたいですか？

|            |     |
|------------|-----|
| ①体験したことがある | 3人  |
| ②体験したことがない | 13人 |

※②の体験したことがないの13人のうち

|             |    |
|-------------|----|
| ア、体験してみたい   | 8人 |
| イ、興味がない     | 3人 |
| ウ、どちらともいえない | 2人 |

→体験林業の経験はないが、体験してみたいと思ってる人が半数を占めているのが注目されました。

以上のアンケート結果から、FFGの利用として登山・ハイキングでの泊まり・キャンプ・森林浴・自然観察等を考えており、又体験林業もやってみたいという事からも、自然とのふれあいに強い関心を持っていることが伺えました。

6. 仁別FFGの使用状況(結果)等についてのアンケート調査結果について(アンケートは平成11年11月に実施しました。18名の契約者のうち15名からの回答で回収率は83%となっています。)

(1) どのように利用されましたか？

|               |    |
|---------------|----|
| ①森林浴、山菜取り     | 8人 |
| ②キノコ栽培        | 1人 |
| ③仲間とのふれあいの場   | 1人 |
| ④つる切り等保育      | 1人 |
| ⑤尺八の稽古、演奏会と茶会 | 1人 |
| ⑥都合により未使用     | 3人 |

→森林浴、山菜取り、キノコ栽培など、自然とのふれあい・共生が目につきます。

(2) どの程度利用されましたか？

|                   |    |
|-------------------|----|
| ①月に1回1泊2日         | 1人 |
| ②月に2回日帰り（1泊の時もあり） | 1人 |
| ③月に6～8回日帰り        | 1人 |
| ④月に3回日帰り          | 1人 |
| ⑤月に1回日帰り          | 4人 |
| ⑥2ヶ月に1回日帰り        | 4人 |
| ⑦未使用              | 3人 |

→一部泊まりでの利用があるものの、当初予定と違い日帰りでの利用がほとんどを占めています。

(3) 泊まりで利用された場合、どのようにされましたか？

|                   |    |
|-------------------|----|
| ①区域内にテントを設営し泊まり   | 1人 |
| ②区域内に簡易な建物を設置し泊まり | 1人 |

→泊まりで利用された2人は、いずれも区域内での利用となっています。

7 仁別FFGの来年度の利用予定等についてのアンケート調査結果について（アンケートは平成11年11月に実施しました。18名の契約者のうち15名からの回答で回収率は83%となっています。）

(1) どのように利用をお考えですか？

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①森林浴、山菜取り       | 6人 |
| ②キャンプ、登山基地（太平山） | 3人 |
| ③つるきり、山菜取り      | 3人 |
| ④自然観察の講座、輪読会    | 1人 |
| ⑤キノコ栽培、森林浴      | 2人 |

→今年度、都合により利用しなかった人も含めて、来年度は全員が森林浴など思い思いに森林とのふれあいの場を求めている利用を考えているようです。

(2) どの程度の利用をお考えですか？

|            |    |
|------------|----|
| ①月に1回 1泊2日 | 5人 |
| ②月に2回 1泊2日 | 1人 |
| ③月に1回日帰り   | 2人 |
| ④月に2回日帰り   | 5人 |
| ⑤月に3回日帰り   | 1人 |
| ⑥月に6～8回日帰り | 1人 |



→泊まりでの利用予定が6人40%となっていますが、今年度の利用を踏まえて、頻度の上でもより積極的に利用したいという気持ちが見とれるものとなっています。

(3) 泊まりで利用される場合、どのようになされますか？

|                   |    |
|-------------------|----|
| ①区域内にテントを設置し泊まり   | 4人 |
| ②区域内に簡易な建物を設置し泊まり | 2人 |

→簡易な建物を設置し泊まり、としている2人は仲間同士などで何日もかけて作設した労作で利用予定頻度をみても仲間同士や家族で定期的に利用しようとしている姿が目につかぶようです。

8. 三内川FFGの利用予定等についてのアンケート調査結果について（アンケートは平成11年9月に実施しました。13名の契約者のうち12名からの回答で回収率は92%となっています。）

(1) どのような利用をお考えですか？

|             |    |
|-------------|----|
| ①キャンプを張り森林浴 | 6人 |
| ②森林浴、自然観察   | 4人 |
| ③山菜、キノコ栽培   | 2人 |

→全員が森林浴などを楽しもうとしており、自然とのふれあいを心まちにしている様子が伺えます。

(2) どの程度の利用をお考えですか？

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①月2～3回各々1泊2日    | 4人 |
| ②月1～2回日帰り又は1泊2日 | 4人 |
| ③月2～3回日帰り       | 3人 |
| ④月1回日帰り         | 1人 |

→月1回以上の泊まりでの利用を考えている人が約7割を占めています。

(3) 泊まりで利用される場合、どのようになされますか？

|                   |    |
|-------------------|----|
| ①区域内にテントを設営し泊まり   | 7人 |
| ②区域内に簡易な建物を設置し泊まり | 1人 |
| ③近隣の宿泊施設を利用し泊まり   | 1人 |

→自分の区画（区域）内にテントを張ったり簡易な建物を設置しての泊まりの予定者が8人で3分の2を占めていることが注目されます。

(4) 森林の働き等について、皆様のご存知のことがありましたら記入して下さい。

|              |     |
|--------------|-----|
| ①保水、土砂崩壊の防止  | 11人 |
| ②酸素の供給、空気の浄化 | 11人 |
| ③木材の供給       | 7人  |
| ④自然景観        | 1人  |

→森林の働きとして土砂崩壊の防止機能等、いわゆる公益的機能をあげた人が4分の3を占めていることが注目されますし、森林をよく理解されている人が予想どおり多くなっています。

9. おわりに

10年度実施の仁別FFG及び11年度実施の三内川FFGについて、契約者の利用状況等について、主にアンケート調査結果を基に述べてきましたが、FFGについては、昨今の自然志向の中で、貸付料が年間1万円前後と手軽なこと、又、その利用が区域内

であれば比較的自由なこと等から公募に当たって、PRをいかに広めるかが重要であるとともに、知名度、交通の便、景観、駐車場・トイレ等ある程度の条件が揃っていれば、今後も一定の需要があるものと考えられます。

署としても今後は各契約者が利用しやすいように、施設や標識類の整備等を計画的に行い、出される要望については出来得る限り応えていきたいと考えています。

本事業は、国民のための「開かれた国有林」として、森林・林業に対する国民の理解を深めるとともに、森林づくりへの参加の契機となることが期待されることから、他署・他所においても現場の状況等を吟味しながら募集してみたいかがでしょうか。